

広報誌

うえるふえあ

60号

2013.7.25

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町 191 番地 TEL (0993) 72-0055

慈生会学会を開催しました

6月27日(木)に慈生会学会が開催されました。慈生会学会は、法人職員が業務において努力工夫したことや、研究成果を発表する場です。平成16年から開催され、今年は第10回目となりました。今回は、5題の発表がありどれも素晴らしい内容でした。また、これらの演題の中で特に秀でたものに関しては外部の学会でも発表することになります。今後発表内容を参考に、更なる医療の質ならびにサービスの向上を図っていきたいと思います。



【発表演題】

- ① 精神科病院における思春期へのアウトリーチ
～臨床心理士の立場から～
今村智佳子(心理室)

- ② 精神科治療病棟での思春期医療の1例
～解離性障害による人格交代と自傷行為がある患者との関わりを振り返って～
川満美香(レスティア病棟)
- ③ 『慢性期統合失調症患者の退院支援の取り組み』
～家族の介入困難・拒否のある患者への生活指導を通して～
中村隆志(めぐみ病棟)
- ④ デイケアにおける薬剤師の配薬業務について
水流啓太(薬剤課)
- ⑤ 医療安全管理委員会の取り組み
～これまでの取り組みを振り返って～
宮原正樹(医療安全管理委員会)



経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

第21回家族会のご報告

平成25年5月18日(土)に第21回家族会を開催し、ふるさと社会福祉事務所代表有川絹子氏より成年後見制度について講演していただきました。

成年後見制度とは、認知症や精神障がいなどによって判断能力が不十分な方々を、法律面や生活面で保護したり支援する制度です。このような制度があるという事を初めて知った方もいらっしゃいましたが、身近な話題を交え説明していただき、どのような制度か理解を深めていただくことができました。講演を聞いていただいたご家族からも「勉強になった」「今後の生活に活かしていきたい」との声をいただくことができました。今後も様々な題材を取り上げ、皆様の学びの場となるような会を開催していきたいと思っております。興味のある制度や内容等ございましたら、ぜひ職員までお申し付けください。

また、今回は、認知症を抱える方を支える家族の会である『コスモス会』と精神障がいを抱える方を支える家族の会である『すずらん会』の合同で開催いたしました。両家族会とも21回目の開催でしたが、合同での開催は初めての試みでした。今後も新しい試みも取り入れながら、第30回、第40回と開催回数を重ねていきたいと思っております。気軽に参加していただけるような会を目指して毎回企画しておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。

職員一同皆様のご参加をお待ちしております。



後見人制度とは？

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない方について、ご本人の権利を守る援助者（「後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。

どんなことをするのですか？

本人の意志を尊重しながら、財産を管理したり、生活に必要な様々な契約を結ぶといった支援をします。

どんな時に利用するのですか？

たとえば、

- 知的障がいを持つわが子のために、両親が亡くなった後も子どもの生活や財産管理を任せたい。
- アパートを経営している父が突然病に倒れ入院。なんとか父のかわりに管理をしたい。
- 認知症の家族を、悪徳訪問販売員から守りたい。

(※法務省民事局のパンフレットを参考に作成しました。)

投稿作品 説教タヌキ

ここは小さな漁師町。小高い丘に漁の安全を祈ってタヌキ神社が祭ってありました。

今は夜中の 12 時、夏の夜空に満月が輝き、遠くでは船の安全を守る灯台の灯が回転していました。そこへ一人の子供が現れました。いつも神社へのお供え物を盗んでは食べていたのです。



この子供の名前は正太、小学 3 年生でした。今夜もバナナや団子をお腹一杯食べて帰ろうとしました。すると神社の奥の方から大きな声が聞こえてきます。その声はこう言いました。

「お前はいつもそうやって盗みをしているな？今にバチが当たるだろう。」

正太はとても恐くなり逃げ出そうとしましたが足が動きません。よく見ると足に大きな鎖が巻き付いているではありませんか。どんなに正太がもがいてもとれません。正太はパニックになりお母さんと呼んで泣き叫んでいると、正太を探していたお母さんが走ってやってきました。

正太を見つけたお母さんはびっくりしましたが、正太からこれまでのことを全部聞き、きっと神様のバチが当たったのだと考えました。そこで、お母さんは神社の奥に向かい、

「神様、私の正太をお許してください。」

と何度も何度もお詫びし、頭を下げました。

すると奥の方から神様の声が聞こえてきました。

「お前があの子の母親か。泥棒をするような馬鹿な子供になったのはお前の育て方が悪かったからだとは思わぬか？子供が大人になったとき、人に交わり立派に生きていくための力を身につけさせるのが親の役目であるぞ。家庭が原点なのだ。これからは正太にたっぷり愛情を注ぎ、子供のために生きなさい。」

お母さんは正太が許してもらえることを願い神様の声を黙って聞いていましたが、あまりにもお喋りなので心に引っかかるものを感じました。そこでお母さんは一か八か心を決め、手にしていた懐中電灯を声の方へ力いっぱい投げつけたのです。するとどうでしょう、夜空には星が輝いているのに突然雨がザーッと降り、さっとやみました。雨がやむと同時に正太の足に巻きついていた鎖は消え、また自由に歩けるようになっていました。

正太は大喜びしてお母さんの腕の中に飛び込み、そしてたずねました。

「あれはいったいなんだったの？」

お母さんは答えました。

「あれは裏山に住むタヌキのイタズラだったんだよ。正太が悪さをやるからこらしめようとしたんだね。」

正太はお母さんに素直に謝りました。

「いいんだよ。忙しさのあまり正太の面倒を見てやれなかったから寂しかったんだね。それに、あのタヌキ、いい事を言ってくれたね。」

二人は手をつなぎ、笑いあいました。



「明日は二人で、タヌキ神社にお供え物をしに行こうね。」

「お母さん、明日からもっと勉強して、いい子になるね。」

「そうだね。私も仕事を頑張って正太においしいものを食べさせてあげるからね。」

二人は親子の絆を感じたのでした。

居宅介護支援事業所「うえるふえあ」の紹介

■ 介護支援事業所とは

都道府県より介護保険事業所の指定を受け介護支援専門員を配置している在宅介護を受ける時の窓口となる事業所です。

■ 介護支援専門員（ケアマネージャー）とは

介護を必要とする方の自立支援を目的としたケアプラン（居宅介護サービス計画）を作成する専門職です。

■ ケアプランとは

ご本人やご家族の意見を取り入れて在宅でその人らしい生活が送れる様、介護サービスやインフォーマルなサービス組み合わせた計画書です。

●介護保険ではケアプランに沿って介護サービスが提供されます。

■ 介護保険を利用するには

- 40歳以上の方は介護保険料を納めます。
- 65歳以上の方には介護保険証が配布されます。
- 介護状態になり介護認定を受け、ケアプランが作成されれば介護サービスを受けられます。
- 病気（特定疾病）によっては40歳以上でも介護保険対象者となります。
- サービス利用料の一割は自己負担となります。

【 サービスの内容 】

- ・介護保険に関する相談・援助
- ・ケアプランの作成
- ・介護サービス事業所などとの連絡調整
- ・住宅改修についての助言・申請代行
- ・介護認定申請・更新申請の代行などです。

問合せ先

居宅介護支援事業所うえるふえあ
TEL0993-72-0055



回想の窓 「回想法の感想」

今回は、初めて回想法に参加させていただいた感想をお話しします。私は5月よりいその苑のグループ回想法に参加させていただき、メンバーの皆さんからご家族のこと、お仕事のことなど色々なテーマの話を聞かせていただいています。回想法が始まる前には、どんな話をされるのか、どんな雰囲気で行われるのか、分からないことばかりでドキドキしていました。しかし実際に参加してみると、それぞれメンバーの皆さんが懐かしそうに、そして少し誇らしそうに昔の思い出話や苦労話を詳細に語って下さり、その話に驚かされたり笑わせてもらったり、毎回あっという間に終わりの時間が来てしまいます。私にとってはどの話も初めて聞くことばかりで、最近ではドキドキよりもワクワクしながら毎週の回想法の日を迎えています。「楽しかった」「良かった」と笑顔で帰っていかれるメンバーの皆さんの表情を見て、私も元気を頂いています。（心理室溝上）



「木エクラブ」の紹介

今回、5月の末からめぐみ病棟で活動している、OT活動「木エクラブ」について紹介したいと思います。

まず、最初に作業療法における物づくりは①目標が明確でわかりやすい(『完成』という目標)、②『完成』に向かって個人が身体を動かしたり、考えたりする、③『完成』に向かって集団の中で役割がうまれる、④『完成』に向かってコミュニケーションがうまれる、以上のようなことを期待して物づくりを行います。また、今回の「木エクラブ」では計画から作成までできるだけ患者様で行っていくことを1番の目的としました。

始めてはみたものの女性2人を含む7人の素人集団なので課題は多いです。何せ、私も素人同然なのでから…。

みなさんは木工作业という何を想像しますか? テーブルやイス、本棚作りを想像する方も多いでしょう。木エクラブでは現在「ベンチ」を作って活動しています。写真はクラブの1風景です。みなさん、職人のような顔つきじゃないでしょうか??

この広報誌がみなさんの手元に届くころには、このベンチがあなたの近くにあるかもしれませんよ。(作業療法士:辻本)



実習生の感想

作業療法課実習生 鹿児島大学作業療法学専攻科北島寛子

今回、実習をさせて頂くまでは精神科の病院は閉鎖的で暗いイメージがありましたが、この実習を通し、患者様の安全を確保する為閉鎖的な空間はもちろん必要ですが、病棟の窓の外には自然が広がり、病棟内も明るく清潔感のある内装になっており、癒しの空間での治療・療養を行うことができているのだと感じました。

様々な職種が連携して、それぞれの専門的な視点から患者様お一人お一人を治療・支援しているのだということも印象的でした。

担当の病棟の患者様に限らずスタッフの皆様が患者様に寄り添われる姿勢を見て、患者様との関わりを大切にされており、そういう部分が患者様へのより良い医療提供に繋がっているのだと感じました。また、実習生の私に対してもスタッフの皆様が親切に指導して下さり本当に勉強になりました。

今回の実習で学んだことを今後にも生かして頑張っていきたいと思います。6週間本当にありがとうございました。

夏バテ予防レシピ ＜豚肉となすの味噌炒め＞



材料（4人分）

豚もも肉コマ切れ	200g
なす	120g
人参	40g
玉ねぎ	240g
キャベツ	160g
ピーマン	40g
しょうが薄切り	1片
サラダ油	適量
調味料 味噌、砂糖、醤油、酒	

作り方

- ①なすは、5cmの長さの拍子切りにし、水にさらしたら水気を取って油で揚げる。
- ②人参はたんざく切り、玉ねぎはスライス、キャベツとピーマンは一口大にきる。
- ③フライパンに油を熱し、しょうがを炒め香りが出たら、豚肉と②の野菜を炒める。
- ④火が通ったら、①のなすと調味料を入れ、全体に味がからまるように混ぜます。

メモ

豚肉は、ビタミンB1が豊富で、疲労回復に効果があり、夏バテを防ぎます。

なすには、体を冷やす作用があり、体の内側から余分な熱を取りのぼせやほてりを鎮めます。また、なすに含まれるコリンという成分は肝機能を高める効果があるため食欲不振に有効です。しっかり食べて、暑い夏を乗り切りましょう。

委員会紹介 診療情報管理委員会

＜診療情報管理とは＞

入院・外来の診療録を管理するものである。管理とは、記録に漏れがないかチェックして綴り合わせし、疾病や手術の分類を行い、いろいろな面から検索できるように細かい検索をつくり、正しく保管すると同時に、

医療統計、疾病統計など医療評価のための資料を作成して、いつでも医師、コメディカル、看護師などの職員および病院が利用できるように保管管理する業務である。

＜委員会の目的＞

病院における診療録管理・診療情報等に関する問題を協議し医療の質の向上と、より良い医療を提供出来るよう、業務の合理化を図るとともに、円滑な運用を図ることを目的とし診療情報管理委員会を設置する。

＜委員会の活動＞

①診療録の貸出管理

外来、入院患者の診療上必要な場合は貸出を行っている。

②診療録の点検

チェックリストを基に、紙媒体で残る帳票、又、診療報酬請求をする際に必須である帳票が確実に保管されているか点検を行う。

③分類、データの入力、統計、報告

入退院の患者の情報の入力、及び、疾患をICD-10を用いてコーディング化し、毎月疾患別の統計報告を行っている。

ボランティアへのお誘い

当法人では、ボランティア活動をしてくださる方を募集しています。

◇ 活動内容

①患者様・利用者様の療養生活を豊かにする支援活動

- ✦ 話し相手
- ✦ 園芸（花壇等の花木を手入れする活動）
- ✦ 各種行事・イベントの手伝い、歌・舞踊などの披露
- ✦ 習字、生け花、手芸、お茶など特技を活かした教室の開催 など

②身辺雑事の補助活動

- ✦ 施設の美化活動（書棚の整理、花瓶の水かえ）など

③介護の補助活動

- ✦ 食事介助補助
- ✦ 移動補助
- ✦ 入浴介助補助
- ✦ 配膳の手伝い など



◇ 日程

月曜日 ~ 金曜日
8時30分 ~ 17時までの間

◇ 活動場所

ウエルフェア九州病院
（枕崎市白沢北町 191）
地域活動支援センターうえるふえあ
（枕崎市白沢北町 191）
高齢者グループホーム福祿寿
（枕崎市宮田町 172 - 1）

申し込み・問い合わせ先

ウエルフェア九州病院
地域医療福祉連携課
TEL0993 (72) 0055

バザーを開催しました



昨年の冬から延期になっていた待ちに待った院内バザーを5月31日に開催することができました。自分たちで作った小物やクッキーを笑顔で声をかけながら販売することができました。エコクラフトで作った籠は毎年人気があり、さらに素敵にできるように現在も腕を磨いています。手芸用品もレース小物から巾着・クッションまでを作成しています。

喫茶コーナーではお菓子がすぐに完売してしまうため、午前と午後に分けて販売するなど多くの方に味わって頂けるよう工夫を凝らしていきたいと考えています。今年の冬にバザーがある予定ですのでポスターなどを見かけた際にはぜひお越しください。

医療福祉相談窓口

相談の窓口として、精神保健福祉士（医療福祉相談）が対応しています。経済面、年金、保険、加療中のご心配、また、要望や苦情などお気軽にご相談ください。相談内容についての秘密は厳守いたします。無料です。



受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
日曜・祝日は除きます

相談を希望される方は、直接、当院地域医療福祉連携課窓口にお越しいただくか、病院職員にお申し出ください。電話での相談も受け付けております。

ご意見箱

当院では意見箱を設置し、患者様、ご家族様からのご意見・ご要望にこころをこめて取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

①面会に来て鍵がかかっている時は呼びだしのボタンがあると思います。

<回答>

ご迷惑をかけております。こちらもすぐ気付かないことが多く申し訳なく思っておりました。ご意見に従い、夜間受付を呼び出し用に使用することにしました。ご使用下さい。

お知らせ

■精神科当番 7/28(日)・9/23(月)

■内科当番 9/1(日)・9/23(月)

お盆休診

8/14(水)・8/15(木)

外来休診とさせていただきます。

研修等による医師不在のお知らせ
(7/16時点)

7/27(土) 鮫島秀弥

7/29(月) 迫口

8/5(月)～8/9(金) 小城

8/19(月) 鮫島拓人

その他急遽変更になる場合もありますので事前にお問い合わせください。

編集後記

湿気が多く煩わしかった梅雨も明け、夏本番です。夏祭りに花火大会、川遊び…と楽しみが色々ありますが、やっぱり食べ物が美味しいですね。かき氷にスイカ、ソーメン…今年も楽しい夏が過ごせそうです☆皆様も夏バテされないようお過ごしくださいね。

発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会
〒898-0089

鹿児島県枕崎市白沢北町191番地

TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199

URL <http://www.wkh.or.jp/>

E-mail jiseikai@wkh.or.jp

ウエルフェアは

健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。